

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第4部門第1区分
 【発行日】平成21年4月2日(2009.4.2)

【公開番号】特開2007-218012(P2007-218012A)
 【公開日】平成19年8月30日(2007.8.30)
 【年通号数】公開・登録公報2007-033
 【出願番号】特願2006-41898(P2006-41898)
 【国際特許分類】

E 0 1 C 23/09 (2006.01)

【F I】

E 0 1 C 23/09 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月18日(2009.2.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

車体基板部、当該車体基板部に設けられている移動走行用の前輪及び後輪、当該前輪と後輪の配置方向と同一の方向に回転中心軸が配置されている回転軸、当該回転軸を回転自在に保持する回転軸保持部、当該回転軸を回転駆動させる為の回転駆動源及び当該回転軸保持部と当該回転駆動源とで構成される駆動部が搭載され、且つ当該車体基板部と接離可能に配置されている駆動部保持体とから構成されており、当該回転軸の一方の端部は、当該回転軸保持部を介して当該回転駆動源に直接的或いは間接的に係合されており、且つ当該回転軸の他方の端部には切断刃を周設した回転刃体部が、当該車体基板部若しくは当該駆動部保持体の前方端部から延出する状態で着脱自在に取り付けられており、且つ当該駆動部保持体の後方端部が、当該駆動部保持体の前方端部が当該車体基板部に対して任意の角度を形成する様に当該車体基板部の予め定められた部位に設けた旋回中心部を中心と当該旋回可能に設けられており、更に当該車体基板部の当該後方端部から当該車体基板部の内部方向に向けて形成されたアンカー挿入通路部が設けられていると共に、当該アンカー挿入通路部の終端部に当該アンカー固定把持部が設けられている事を特徴とする路面用カッター。

【請求項2】

当該回転軸は、当該回転軸保持部を介して当該回転軸の中心軸方向に摺動移動可能に構成されている事を特徴とする請求項1に記載の路面用カッター。

【請求項3】

当該回転刃体部は、切断刃を周設した平板状回転刃体部及び切断刃を周設した断面円弧状回転体から選択された一つである事を特徴とする請求項1又は2に記載の路面用カッター。

【請求項4】

当該前輪と後輪の少なくとも一方は、当該車輪の向きが固定される状態と自由に車輪の向きが決定される状態との何れかを選択的に採用できる選択機構が設けられている事を特徴とする請求項1乃至3の何れかに記載の路面用カッター。

【請求項5】

当該車体基板部と当該車輪とで形成される平面外郭線の全てが、当該回転刃体部によって形成される円形形状の内部に常時存在する様に当該車体基板部と当該車輪との平面形状

が設定される事を特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れかに記載の路面用カッター。